
早朝のコンビニにて

koma shun

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

早朝のコンビニにて

【Nコード】

N9726T

【作者名】

k o m a s h u n

【あらすじ】

早朝、主人公（長谷川明）は出勤中にコンビニへ立ち寄る。

自動ドアが開き、中へ入ると気の抜けた「いらっしやいませ」という声が聞こえた。その先をちらりとみると、眠たそうな顔をした若い女性の店員が見えた。

すると、店員を見るなり明は「今、そんな顔を見せられてはこちらが危ない」と、店の正面にある雑誌コーナーへ折れることにした・

迂回を最小限に抑えつつ、ブラックの缶コーヒーとツナとタマゴの

ミックスされたサンドイッチを手に取ると、顔を下に向けたまま、レジへと向かう。

会計の間、なにげなく明はレジの傍にあった新聞の見出しをみると・

(前書き)

どうも、k o m a - s h u n nです。

今作で、4作目となります。

今回は、いままでとは少し違ったテイストとなるように書いてみました。

また、前作までの作品

「かつおぶしは厚めに削れ」

「夜の雨と」

「卯月の寒い深夜にて」

も合わせて、お読みいただけたら幸いです。

では、「早朝のコンビニにて」をお楽しみください。

「早朝のコンビニにて」

1

長谷川明は仕事場に向かう途中、コンビニに立ち寄った。自動ドアが開き中へ入ると、気の抜けた「いらっしやいませ」という声が聞こえる。明がちらりと視線を移動させると、その先には、眠たそうな顔をした若い女性の店員が見えた。

すると、店員を見るなり明は、「今、そんな顔を見せられてはこちらが危ない」と、店の正面にある雑誌コーナーへ折れることにした。

明は迂回を最小限に抑えつつ、ブラックの缶コーヒーと賞味期限の一番短いツナとタマゴのミックスされたサンドイッチを取ると、顔を下に向けたまま、レジへと向かった。

4

- 2 -

店員がゆっくりと商品をレジ袋にいれている間、明はレジの傍にあった新聞の見出しを見ていた。3、4紙ある新聞のどれもがほぼ同じ内容だ。

「宇宙からのメッセージ届く、2万5千年前の思いが日本へ」

「発信者、地球外知的生命体の可能性を閣僚が示唆」

「メッセージ内容がネット流出」

「流出情報、技術革新に多大な貢献をあたえる可能性大」

「世界最大規模の受信塔、上海で来月着工」

3

「やれやれ、やっぱりとんでもないことになってるな」

明は心の中でつぶやくと、新聞を手に取りレジに置いた。

「これみせたら、部長なんていうだろうなあ」

明はコーヒを飲み、サンドイッチを口の中に押し込みながら、考えた。

きつと「情報をリークしたのは、君か」なんて、きまじめな顔で聞いてくるに違いない。その部長の顔を思い浮かべると、明はコーヒを吹き出しそうになった。

5

4

「でも、まあそれならそれで仕方ない」

腹をくくった明は、歩き始めた。コンビ二を右手に進み、信号を2つ超え、三叉路を右に折れると、手にしている新聞にこれでもかと思面大きく掲載されているビルが明を見下ろしていた。

明は誰にも気づかれないうように小さくため息をしてから、そこへ小走りに駆けていった。

(後書き)

ご通読、ありがとうございました。

ご意見、ご感想等ありましたら、ぜひよろしくお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9726t/>

早朝のコンビニにて

2011年10月9日06時35分発行